

ユーザーガイド

Profoto B10

Profoto B10 Plus

他の言語については次のURLにアクセスしてください。
www.profoto.com/support



Profoto製品をご購入いただき、ありがとうございます。

新しいフラッシュやライトシェーピングツールを含む弊社の製品には、ほぼ半世紀に及ぶノウハウが蓄積されています。

長らく弊社が重視してきたのは、わずかな細部にもこだわるということです。弊社では、完全に信頼できる製品にのみ弊社のブランド名を冠しています。各製品は出荷前に、多岐にわたる徹底的な検査を受けており、一定水準の性能、品質、および安全性に適合していない製品は出荷されません。

こうして出荷されたProfoto製品は、お客様を長期的に支援できると確信しています。製品の購入は始まりにすぎません。ライティングには多様な創意工夫が伴いますが、弊社では、あらゆるライティング方法と幅広いライトシェーピングツールを提供できることを誇りにしております。

ライティングの可能性は無限です。最初は戸惑うかもしれませんが、すぐにコツを掴めるでしょう。

ライティングに関するヒントや詳しい情報は、弊社のニュースレターにサインアップするか、弊社のホームページ (www.profoto.com/jp/profoto-stories) をご覧ください。Profotoのライトシェーピングツールを活用して撮影した写真家による作品をご覧くださいませ。

Profoto製品をぜひご活用ください。

Conny Dufgran (創業者)

安全に関する一般的な注意事項



安全に関する注意事項

製品を使用する前に、取扱説明書をよくお読みください。本書は必ず製品と共に保管してください。Profoto製品は屋内での使用向けです！湿気、強い電磁場、可燃性ガスや粉塵が存在する環境では、製品の保管や使用を避けてください。製品を水没させたり、水滴のかかる場所で使用したりしないでください。花瓶など、水の入った容器を装置の上や近くに置かないでください。湿度の高い環境下では、極端な温度変化を避けてください。製品内部に結露が生じる可能性があります。本製品を他社製ストロボやスタジオライトに接続しないでください。前面レンズにひび割れや深い傷など、目に見える破損があり正常に動作しない場合は、使用を中止して正常な製品と交換してください。装置の点検、改造、修理は、認定された資格を有する要員のみが行う必要があります。警告-フラッシュシンボルが表示された端末は危険です。充電器の主要ケーブルとプラグは、主電源から接続を切る装置として機能します。常にケーブルではなくプラグを引っ張り、主要電源から充電器を抜いてください。本製品はコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。



警告 — 感電の危険があります — 高電圧!

スタジオライト、ジェネレーターやフラッシュヘッドの蓋を開けたり、分解したりしないでください。製品は高電圧で動作します。ジェネレーターのコンデンサーは、電源を切った後も長時間帯電し続けます。バッテリー（バッテリーパックまたは個別電池・バッテリー）を直射日光や火などの熱源にさらさないでください。



注意 — やけどの危険 — 高温部品

前面レンズに亀裂がある場合は、製品を再使用する前に必ず交換してください。使用中は前面レンズに触れないでください。高温になる可能性があります。

NOTICE RFに関する注意事項

本製品は無線通信時に特定の無線周波帯を使用します。製品は必ず現地の規制に基づいて使用してください。本製品が使用する周波数帯は他の装置も使用します。インターフェースは除外できません。無線伝送には様々な規制と制限があるため、Profoto B10/B10 Plusには電力出力設定が備えられています。国によってはフルパワーモードを使用できません。ユーザーガイドで各国ごとのセクションを参照し、各国の規制で許可されている最大電力設定を確認してください。電力出力を低くすると、装置の到達距離に影響する点にご留意ください。



最終処分

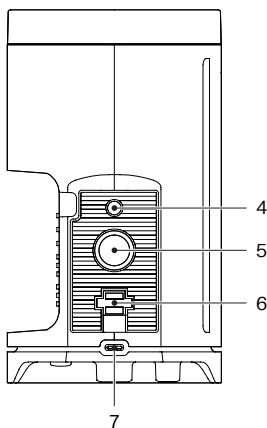
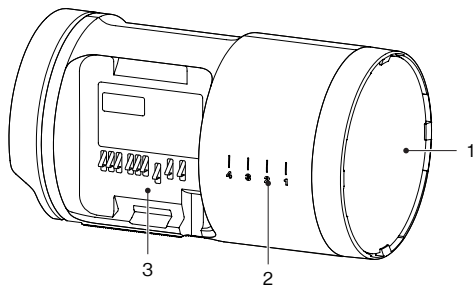
製品が使用期限に達した場合は、他の家庭用ごみと一しょに処分しないでください。本製品は環境に有害な可能性のあるバッテリー、電気・電子部品を含んでいます。Profoto販売店にご返却いただければ、無料でリサイクルできます。バッテリー、電気・電子部品の処分に関しては各地の法令に従ってください。

目次

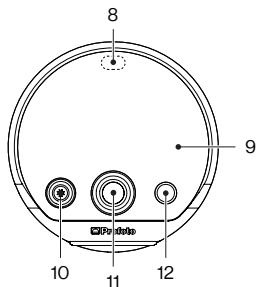
安全に関する一般的な注意事項	4
各部名称	7
はじめに	10
バッテリーを充電する	10
バッテリーのステータスをチェックする	10
バッテリーを取り付ける	11
スタンドアダプターを取り付ける	12
ライト用スタンドに設置する	13
カメラの三脚に設置する	14
Profotoライトシェーピングツールを取り付ける	15
フロントグラス、フラッシュチューブ、LEDを交換する	16
基本的な操作	17
電源オン/オフ	17
フラッシュの出力を調整する	17
定常光を調整する	18
設定メニューのナビゲート	19
メニュー設定	20
Airグループ	20
Airチャンネル	20
Air	20
Bluetooth	20
IRスレーブ	21
フラッシュモード	21
定常光	22
詳細設定	22
Airの操作	25
トリガー (チャンネル設定)	25
リモートコントロール (グループ設定)	25
TTL	26
ハイスピードシンクロ	26
Air互換性の概要	26
Airの操作に関する一般的な注意事項	26
Profotoアプリの接続性	27

その他	27
バッテリーの保管	27
過熱からの保護.....	28
クイックバースト.....	28
ファームウェアの更新	29
シリアル番号.....	29
技術仕様	30
保証	34
規制情報	35

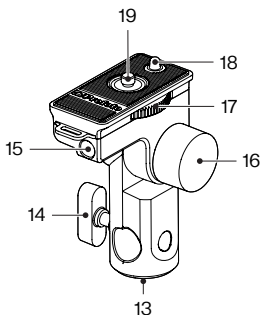
各部名称



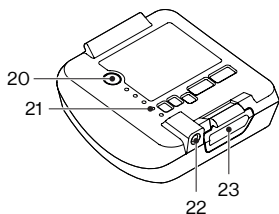
- | | |
|----------------|------------------|
| 1. フロントガラスプレート | 5. スタンドアダプター取付位置 |
| 2. ズームスケール | 6. ストラップ取付位置 |
| 3. バッテリー収納部 | 7. USB-Cポート |
| 4. 位置調整ピンの穴 | |



- | | |
|----------------|-------------|
| 8. IRスレイブアイ | 11. メインダイヤル |
| 9. ディスプレイ | 12. テストボタン |
| 10. 定常光ライトダイヤル | |



- | | |
|------------------|--------------|
| 13. スタンドスタッドマウント | 17. 取付ねじホイール |
| 14. クランプねじ | 18. 位置調整ピン |
| 15. アンブレラホルダー | 19. 取付ねじ |
| 16. チルトロックノブ | |

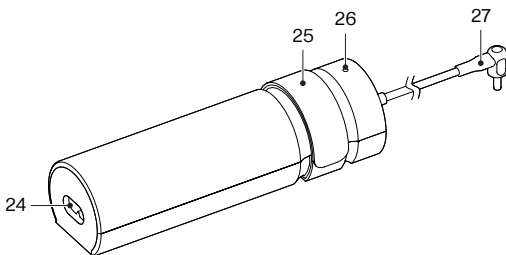


20. バッテリーステータスボタン

21. バッテリーステータスLED

22. バッテリー充電コネクタ

23. バッテリーリリースボタン



24. ACインレット

25. ストラップ

26. 充電ステータスインジケータ

27. バッテリーコネクタプラグ

はじめに

バッテリーを充電する

バッテリーは、どの充電レベルからでも充電できます。Profoto B10/B10 Plusに同梱されていたProfotoチャージャー、またはProfotoが推奨している他のチャージャーのみを使用してください。

1. バッテリーチャージャーのバッテリーコネクタープラグ [27] をバッテリーのバッテリーチャージャーコネクタ [22] に接続します。
2. チャージャーをコンセントに接続します。
3. チャージャーインジケータ [26] が、充電中であることを示すオレンジ色に点灯していることを確認します。
4. 充電が完了すると、チャージャーインジケータ [26] は緑色になります。充電していない場合は、バッテリーチャージャーを電源やバッテリーから切断しておくようお勧めします。

注意

- バッテリーを深放電すると、本書の仕様に記載された時間よりも充電時間が長くなる場合があります。
- バッテリーチャージャーのインジケータがオレンジ色に点滅している場合は、バッテリーエラーが発生しています。Profoto販売店にお問い合わせください。

バッテリーのステータスをチェックする

バッテリーの充電状況は、バッテリーステータスボタン [20] を押すとバッテリー上で確認できます。

バッテリーステータスボタンを押すと、バッテリー充電ステータスがバッテリーステータスLED [21] に表示されます。

5 LED:	75~100%
4 LED:	50~75%
3 LED:	25~50%
2 LED:	10~25%
1 LED:	<10%:

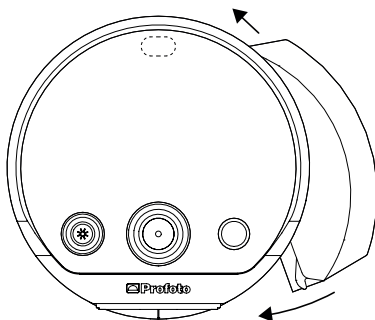
Profoto B10/B10 Plusの電源を入れると、バッテリー充電ステータスはディスプレイ [9] の右下にあるバッテリーアイコン  に示されます。

4セクション:	75~100%
3セクション:	50~75%
2セクション:	25~50%
1セクション:	10~25%
フレームは空:	<10%

Profoto B10/B10 Plusの電源が入っている場合、使用中にバッテリーを充電すると、ディスプレイ [9] の右下にあるバッテリー充電アイコン  に示されます。

バッテリーを取り付ける

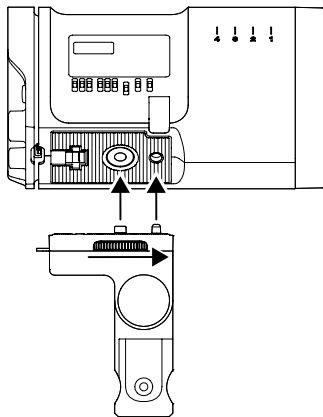
1. バッテリーを取り付けるには、下図のようにバッテリーをProfoto B10/B10 Plusにはめ込み、カチッという音が聞こえるまでしっかり押します。音がすれば、きちんと固定されているということです。
2. バッテリーを取り外すには、まず、Profoto B10/B10 Plusの電源を切ります。バッテリーリリースボタン [23] を押し、バッテリーを引き出します。



スタンドアダプターを取り付ける

スタンドアダプターをProfoto B10/B10 Plusのスタンドアダプター取付位置 [5] に取り付けます。

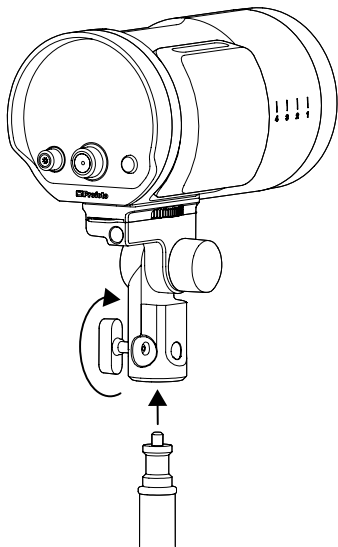
1. 取り付ける前にスタンドアダプターの位置調整ピン [18] がProfoto B10/B10 Plusの位置調整ピンの穴 [4] にはまることを確認します。
2. 取付ねじホイール [17] を使用して、スタンドアダプターが固定されるまで取付ねじ [19] を締めます。



ライト用スタンドに設置する

Profoto B10/B10 Plusをライト用スタンドに取り付ける前に、スタンドアダプターを取り付ける必要があります。スタンドアダプターを取り付けた後、以下の手順に従ってください。

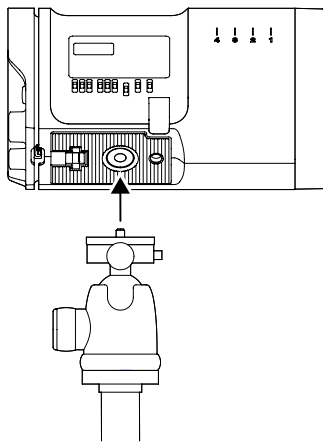
1. スタンドスタッドマウント [13] をスタンドスタッドに取り付け、クランプねじ [14] で固定します。
2. チルトロックノブ [16] をゆるめて、チルトポジションを調整します。
3. チルトロックノブ [16] を締めてチルトポジションを固定します。



カメラの三脚に設置する

Profoto B10/B10 Plusは簡単にカメラの三脚またはボールヘッドに取り付けられます。

1. Profoto B10/B10 Plusにスタンドアダプターが取り付けられている場合は、まず、これを取り外してください。
2. 三脚またはボールヘッドをProfoto B10/B10 Plusのスタンドアダプター取付位置 [5] に取り付けます。



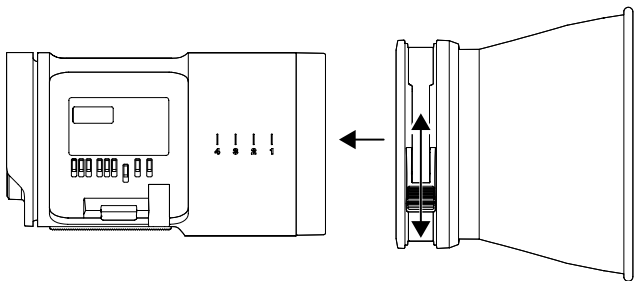
Profotoライトシェーピングツールを取り付ける

Profoto B10/B10 Plusは120種類以上のProfotoライトシェーピングツールに対応しています。これらのツールを使うことで、多種多様な性質の光を作り出すことができます。以下の手順以外にも、各ライトシェーピングツールに追加手順があるかもしれないのでご注意ください。

標準的なリフレクターマウント (留め具のあるゴム製カラー) でツールを取り付ける

ほとんどのリフレクターにはProfotoの独自のクランプ機構が搭載されています。このため、簡単に取り付けられる上、Profoto B10/B10 Plusでズームスケール [2] に沿ってリフレクターを前後にスライドさせるだけで光を形成できます。

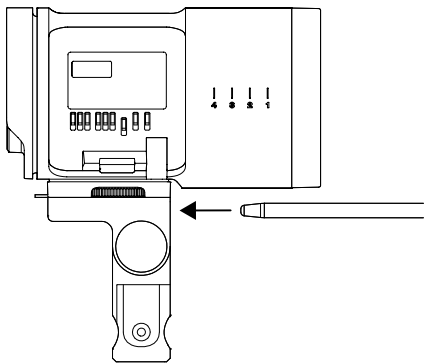
1. リフレクターの留め具をロック解除します。
2. リフレクターをスライドさせ、Profoto B10/B10 Plusの上に動かします。リフレクターの位置を覚えておけるようにズームスケール [2] を使います。
3. リフレクターの留め具をロックしてリフレクターを固定します。



アンブレラを取り付ける

アンブレラホルダーはスタンドアダプターに統合されています。アンブレラは、アンブレラホルダー [15] 内にアンブレラシャフトをスライドさせると、容易に取り付けられます。アンブレラホルダーにはめるには、アンブレラシャフトの直径は7mm~8mmでなくてはなりません。

1. Profoto B10/B10 Plusにスタンドアダプターを取り付けます。
2. アンブレラシャフトをスライドさせ、摩擦を感じる場所を通過してアンブレラホルダー [15] に入れます。
3. 引き続きアンブレラシャフトをスライドさせ、アンブレラがご希望の位置になるまでアンブレラホルダー [15] に入れます。



フロントガラス、フラッシュチューブ、LEDを交換する

フロントガラス、フラッシュチューブ、または定常光LEDの交換は、サービス技師のみが実施できます。最寄りのProfoto正規販売店に連絡し、専門サービスを受けてください。

基本的な操作

電源オン/オフ

1. 電源を入れるには、テストボタン [12] を長押ししてください。
2. 電源を切るには、テストボタン [12] を長押しします。

Profoto B10/B10 Plusの電源を切ると、現在の設定が保存され、再び電源を入れるとその設定が適用されます。

注意

節電機能により、Profoto B10/B10 Plusは一定時間、操作が行われなければ、自動的にスタンバイモードに入るか、完全にオフになります。スタンバイや自動オフになるまでの待機時間は、設定メニューで選択できます。

フラッシュの出力を調整する

フラッシュ出力設定の数値は、大きな太字でディスプレイ [9] に表示されます。出力スケールは1.0～10の相対的なf-stopスケールです。最大出力は10として表示されます。

フラッシュ出力を変えるにはメインダイヤル [11] を使用します。

- メインダイヤル [11] を回すと、出力を1/10 f-stopごとに換えられます。
- メインダイヤル [11] を押して回すと、出力を1 f-stopごとに換えられます。
- テストボタン [12] を押すと、フラッシュをテスト発光できます。

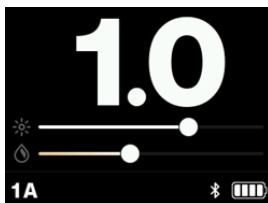
定常光を調整する

定常光は設定メニューで「FREE (フリー)」(工場出荷時設定) または「PROPORTIONAL (比例)」に設定できます。

1. 「FREE (フリー)」に設定すると、フラッシュパワーとは別に定常光の明るさを調整できます。
2. 「PROPORTIONAL (比例)」に設定すると、定常光の明るさは常にフラッシュ出力に比例します。

「FREE (フリー)」設定時に定常光を調整する

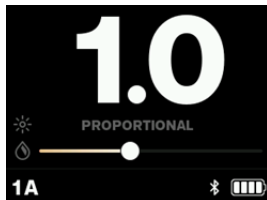
1. 定常光ダイヤル [10] を押すと、定常光をオンまたはオフにできます。
2. 定常光がオンの場合、明るさと色温度は以下のように2つの別個のバーでディスプレイ [9] に示されます。



3. 定常光ダイヤル [10] を回すと、明るさを変更できます。
4. 定常光ダイヤル [10] を押して回すと、色温度を変更できます。

「PROPORTIONAL (比例)」設定時に定常光を調整する

1. 定常光ダイヤル [10] を押すと、定常光をオンまたはオフにできます。
2. 定常光がオンの場合、明るさと色温度は以下のようにディスプレイ [9] に示されます。

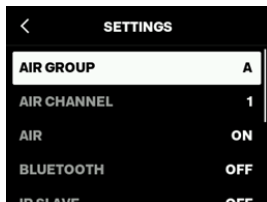


3. メインダイヤル [11] を回すと、出力を変更できます (フラッシュと定常光の双方が比例的に変わります)。
4. 定常光ダイヤル [10] を回すと、色温度を変更できます。

設定メニューのナビゲート

Profoto B10/B10 Plusの設定はすべて、設定メニューからアクセスして選択します。

1. メインダイヤル [11] を押して設定メニューに入ります。



2. メインダイヤル [11] を回すと、設定メニューをスクロールできます。
3. 設定を変更するにはメインダイヤル [11] を押してください。一部の設定ではサブメニューが表示されます。
4. 前のメニューに戻るには、定常光ダイヤル [10] を押すか、メニューの最上部で左向き矢印の記号を選択してください。
5. メイン画面に戻るには、テストボタン [12] を押します。

メニュー設定

下記の設定はすべて、設定メニューからアクセスできます。

Airグループ

「AIR GROUP (Airグループ)」の設定を使うと、Profoto Airでワイヤレス管理したいグループ (A～F) を選択できます。Airの操作のセクションも参照してください。工場出荷時の設定はグループAです。

注意

「AIR GROUP (Airグループ)」の設定は、「AIR」が「ON (オン)」になっている場合にのみ選択できます。

Airチャンネル

「AIR CHANNEL (Airチャンネル)」の設定を使うと、Profoto Airを使ってワイヤレスにトリガーしたいチャンネル (1～8) を選択できます。工場出荷時の設定はチャンネル1です。Airの操作のセクションも参照してください。

注意

「AIR CHANNEL (Airチャンネル)」の設定は、「AIR」がオンになっている場合にのみ選択できます。

Air

「AIR」設定を「ON (オン)」または「OFF (オフ)」に設定すると、Profoto Airワイヤレス機能を有効または無効にできます。Airを無効にすると、ディスプレイ [9] の左下に「AIR OFF (Airオフ)」と表示されます。Airを有効にすると、設定されたチャンネルとグループ (たとえば「1 A」) がディスプレイ [9] の左下に表示されます。

注意

「AIR」が「ON (オン)」の場合は、チャンネルとグループも選択しなくてはなりません。Airの設定方法に関する詳細なガイドランスについては「Airの操作」セクションを参照してください。

Bluetooth

「BLUETOOTH」の設定を使用すると、Profotoアプリの接続性を管理できます。「Profotoアプリの接続性」セクションを参照してください。

- DISCOVERABLE (検出可能) : 「ON (オン)」を選択するとProfoto B10/B10 Plusを検出できるようになり、「OFF (オフ)」にすると

Bluetoothは無効になります。Bluetoothを有効にすると、ディスプレイ [9] のメイン画面の下部にBluetoothアイコンが表示されます。

- DISCONNECT (接続切断) :これは、Bluetoothが有効で、Profotoアプリに接続されている場合にのみ選択できます。Bluetoothをオフにせず、Profotoアプリの接続を強制的に切断する場合に選択できます。

IRスレーブ

「IRSLAVE (IRスレーブ)」の設定は「ON (オン)」または「OFF (オフ)」に設定し、赤外線センサーを有効または無効にすることができます。工場出荷時の設定は「OFF (オフ)」です。

注意

他のトリガー方法(「AIR」など)を使用する場合は「IRSLAVE (IRスレーブ)」を「OFF (オフ)」に設定するよう強くお勧めします。

フラッシュモード

「FLASH MODE (フラッシュモード)」の設定を利用すると、閃光時間優先モードまたは色温度安定性優先モードを選択できます。「NORMAL (通常)」と「FREEZE (フリーズ)」の2つの設定から選択できます。工場出荷時の設定は「NORMAL (通常)」です。

- NORMAL (通常) :フラッシュ出力範囲全体で色温度が一貫するよう最適化されます。「NORMAL (通常)」はほとんどのタイプの撮影で最適なフラッシュモードです。
- FREEZE (フリーズ) :フラッシュ出力範囲全体で最短の閃光時間向けに最適化されています。「FREEZE (フリーズ)」は、すばやいアクションをフリーズさせる撮影に最適です。「FREEZE (フリーズ)」を有効にすると、メイン画面に「FREEZE (フリーズ)」と表示されます。

注意

フラッシュモードの設定は、カメラのX同調速度より遅いシャッター速度でフラッシュを使用する際にのみ使用できます。ハイスピードシンクロを使い、より短いシャッター速度で撮影する際は2つの設定で差異はありません。

本書の「仕様」セクションでは「NORMAL (通常)」と「FREEZE (フリーズ)」の閃光時間と色温度を比べていますのでご覧ください。

定常光

「CONTINUOUS LIGHT (定常光)」設定では、定常光の強さを調整する方法を定義します。「PROP (比例)」と「FREE (フリー)」の2つの設定から選択できます。工場出荷時の設定は「FREE (フリー)」です。

- PROP (比例) : 定常光の強さは常にフラッシュ出力の設定に比例します。この設定は、定常光をモデリングライトとして使用する際にお勧めします。
- FREE (フリー) : 定常光の強さは、フラッシュ出力の設定とは関係なく設定できます。この設定は、定常光をビデオライトとして使用する際にお勧めします。

注意

「PROP (比例)」または「FREE (フリー)」のいずれかを選択した際に定常光を調整する方法については、「定常光を調整する」セクションをご覧ください。

詳細設定

充電完了信号

「READY SIGNAL (充電完了)」の設定では、フラッシュ発光後に完全にリサイクルされ、再びフラッシュ発光の準備が整ったことをProfoto B10/B10 Plusで示す方法を設定します。4つの設定から選択できます。

- SOUND (サウンド) : リサイクルしてフラッシュの準備が整うと、Profoto B10/B10 Plusはピーツという音が鳴ります。
- DIM (画面点灯) : フラッシュの後で定常光はオフになり、Profoto B10/B10 Plusがリサイクルしてフラッシュの準備が整うとオンになります。
- SOUND & DIM (サウンドとDIM) : Profoto B10/B10 PlusはサウンドとDIMの両方で信号を出します。
- OFF (オフ) : Profoto B10/B10 Plusは、フラッシュの準備ができたことを示す信号を出しません。これは工場出荷時の設定です。

注意

フラッシュの後、テストボタン [12] は常にオフになり、Profoto B10/B10 Plusが完全にリサイクルされると再び点灯します。Profoto B10/B10 Plusは完全にリサイクルされていないときでも常にフラッシュしますが、フラッシュパワーは設定されたレベルよりも低くなる可能性があります。

サウンドのコントロール

「CONTROL SOUNDS (サウンドのコントロール)」を「ON (オン)」または「OFF (オフ)」に設定すると、コントロールノブとボタンのサウンドを有効または無効にできます。工場出荷時の設定は「ON」です。

露出に関する警告

「EXPOSURE WARNING (露出に関する警告)」を「ON (オン)」または「OFF (オフ)」に設定すると、Profoto B10/B10 Plusのリサイクル前にフラッシュをたいた場合、露出が誤っていると発せられる警告音を有効または無効にできます。露出に関する警告は、TTLの使用時に要請された発光量が範囲外になった場合も発せられます。工場出荷時の設定は「OFF (オフ)」です。

注意

「EXPOSURE WARNING (露出に関する警告)」の設定に関わらず、設定された出力でフラッシュ発光ができない場合は、黄色のEXP記号がメインスクリーンに表示されます。

ディスプレイの明るさ

「DISPLAY BRIGHTNESS (ディスプレイの明るさ)」の設定を使用すると、ディスプレイの明るさを設定できます。4つの設定から選択できます。

- AUTO (自動) : ディスプレイの明るさは、環境光に基づいて自動的に調整されます。これは工場出荷時の設定です。
- MAX (最大)
- MEDIUM (中)
- LOW (低)

スタンバイ

「STANDBY (スタンバイ)」の設定では、Profoto B10/B10 Plusがバッテリーを節約するためにスタンバイモードに入るまでの待機時間のタイマーを設定します。4つの設定から選択できます。

- 5 MIN (5分) : Profoto B10/B10 Plusは5分間待機した後、スタンバイモードになります。
- 30 MIN (30分) : Profoto B10/B10 Plusは30分間待機した後、スタンバイモードになります。これは工場出荷時の設定です。

- 1 HOUR (1時間) : Profoto B10/B10 Plusは1時間待機した後、スタンバイモードになります。
- NEVER (そのまま) : Profoto B10/B10 Plusはスタンバイモードになりません。

自動オフ

「AUTO OFF (自動オフ)」の設定では、Profoto B10/B10 Plusがバッテリーを節約するためにオフになるまでの待機時間のタイマーを設定します。

3つの設定から選択できます。

- 15 MIN (15分) : Profoto B10/B10 Plusは15分間待機した後、オフになります。
- 1 HOUR (1時間) : Profoto B10/B10 Plusは1時間待機した後、オフになります。これは工場出荷時の設定です。
- NEVER (そのまま) : Profoto B10/B10 Plusは自動的にオフになりません。

注意

スタンバイ機能と自動オフ機能を両方とも無効にした場合、待機状態のバッテリー持続時間は約8時間です。

概要

「ABOUT (概要)」セクションには、シリアル番号やハードウェア、インストールされているファームウェアなど、ユニットに固有の情報が表示されます。

初期設定にリセットする

「FACTORY RESET (初期設定にリセット)」を使用すると、あらゆる設定が工場出荷時の設定にリセットされます。

Airの操作

トリガー(チャンネル設定)

Profoto B10/B10 PlusにはAirTTLが内蔵されているため、どのProfoto Air Remoteからでも、またはProfoto A1からワイヤレスでトリガーして遠隔的にコントロールできます。Profoto B10/B10 PlusはAirTTLおよびハイスピードシンクロにも完全に対応しています(Air Remoteやカメラでサポートされている場合)。基本的なトリガーは3つの簡単な手順で容易に設定できます。ペアリングは不要です。

1. 設定メニューで「AIR ON」を選択し、Profoto B10/B10 PlusでAirを有効にします。
2. Air Remoteをオンにします。
3. Air RemoteとProfoto B10/B10 Plusで同じ「AIR CHANNEL (1-20) (Airチャンネル(1~20))」を選択します。

注意

「AIR GROUP (Airグループ)」の設定に関わらず、同じ「AIR CHANNEL (Airチャンネル)」のフラッシュはすべて同時にトリガーします。チャンネル1~8 はすべての Profoto リモートで設定することができます。チャンネル9~20 は、選択した Profoto リモートでのみ設定できます。

リモートコントロール(グループ設定)

Air RemoteまたはProfoto A1からProfoto B10/B10 Plusを遠隔的にコントロールするのはトリガーと同じくらい容易です。ペアリングは不要です。

1. 「CHANNEL (チャンネル)」を設定します。
2. Profoto B10/B10 Plusで「AIR GROUP (A-F) (Airグループ (A~F))」を選択します。
3. Air Remoteで同じグループを選択します。

注意

オフカメラで複数のライトを使用する場合は、異なるグループに設定すると、各リモートコントロールを有効にできます。詳細な操作方法については、Air RemoteまたはProfoto A1のユーザーガイドをご覧ください。

TTL

Airチャンネルとグループの設定後、Profoto B10/B10 PlusでTTLを設定する必要はありません。Air RemoteまたはProfoto A1でTTLまたは手動(MAN)を切り替え、Profoto B10/B10 Plusにライトを自動的に調整させるか(TTL)、マニュアルでコントロールするのか(MAN)を選択します。マニュアルに切り替えると、すべてのライトはTTLで設定したフラッシュ出力を維持します。これにより、簡単にTTLを「露出計」として使用し、マニュアル調整の起点にできます。これは「ハイブリッドモード」と呼ばれることもあります。

26

注意

詳細な操作方法については、Air RemoteまたはProfoto A1のユーザーガイドをご覧ください。

ハイスピードシンクロ

Airチャンネルとグループの設定後、Profoto B10/B10 Plusでハイスピードシンクロを設定する必要はありません。詳細な操作方法については、Air RemoteまたはProfoto A1のユーザーガイドをご覧ください。

Air互換性の概要

下表には、2019年6月時点でProfoto B10/B10 Plusと互換性のあるProfoto Airのトランスミッターがすべて表示されています。

Airの操作に関する一般的な注意事項

Profoto Airには0.5-300メートル(1.5-1000フィート)のワイヤレス動作範囲があります。最良のワイヤレスパフォーマンスを確保するために以下を検討してください。

- Profoto Airの「オンカメラトランスミッター」とオフカメラのフラッシュユニット間で可能な限り、見通し線を維持してください。
- オフカメラの見通し線を確保できない場合は、到達距離が減少するため、金属製の物体や水が満たされた容器を間に挟まないように注意してください。
- 比較的近い距離でトリガーされない場合は、別のAirチャンネルに切り替えてみてください。
- オンカメラのトランスミッターとオフカメラのフラッシュで推奨される最低操作距離は50cmです。

Profotoアプリの接続性

Profoto アプリとProfoto B10/B10 Plusは簡単に接続できます。接続後は、Profoto B10/B10 Plusの使用がより簡単に、また楽しくなります。Profotoアプリを使うと1回アクセスするだけで以下を行うことができます。

- 容易な更新
常に最新のProfoto B10/B10 Plusファームウェアアップデートを利用できます。
- スマートリモートコントロール
スマートフォンの画面からあらゆるProfoto B10/B10 Plusの設定を表示してコントロールできます。
- 創造的なキャプチャ
光と影を駆使し、Profoto B10/B10 Plusで照らし出しスマートフォンでの撮影が可能です。

2019年6月現在、ProfotoアプリはApple iOSでのみご利用いただけます。

Appleアプリストアにアクセスしてアプリをダウンロードしてください。

ProfotoアプリをProfoto B10/B10 Plusに接続するには、Profoto B10/B10 Plusの設定メニューで「BLUETOOTH AVAILABLE (利用可能なBluetooth)」を選択してください。その後、Profotoアプリをスタートして、アプリ内の指示に従います。

その他

バッテリーの保管

バッテリーを長期間保管する場合は、保管前に50%充電しておく必要があります。空のバッテリーは長期間、保管しないでください。深放電が起こり、バッテリーセルが破損する可能性があります。使用することなく6カ月以上バッテリーを保管した後は、バッテリーの充電レベルを確認するようお勧めします。点灯しているバッテリーステータスLED [21] が2つ未満の場合は、保管を続ける前にバッテリーを再度50%充電する必要があります。

過熱からの保護

Profoto B10/B10 Plusが内蔵過熱保護機能が有効になる温度レベルに達すると、温度制限インジケータがディスプレイ [9] のメイン画面に表示されます。この場合、温度が許容可能なレベルに戻るまでパフォーマンスが制限されます。

クイックバースト

クイックバーストは、Profoto B10/B10 Plusがリサイクルされるよりも早いペースで一連（バースト）のフラッシュ発光を可能にする機能で、自動的に有効になります。この機能は、出力がフル出力未満に設定されたときの有効になります。バーストの長さ、フラッシュの数は、繰り返しの速さと設定した光の出力によって異なります。設定した光の出力が低いほど、トリガーされるバーストは長くなります。この機能のおかげで、Profoto B10/B10 Plusは最初のフラッシュの後、間隔をあげずに、フル出力未満の出力で1秒当たり最大20回のフラッシュをトリガーできます。クイックバーストが有効な場合、出力精度は多少低くなることに留意してください。

ファームウェアの更新

新しいProfoto B10/B10 Plusを使い始める前に、ファームウェアの更新を確認するよう強くお勧めします。

Profoto B10/B10 Plusを登録して更新する最も簡単な方法は、Profoto アプリを使うことです。profoto.com/myprofotoで登録し、MacまたはPCの最新の更新をダウンロードすることもできます。MacまたはPCからアップグレードする際は、Profoto B10/B10 PlusでUSB-Cポート [7] にUSBケーブルをつないで行います。Profoto B10/B10 Plusをオフにして、USB-Cケーブルを接続します。新しいファームウェアをアップロードした後、Profoto B10/B10 Plusをオンにする前にケーブルの接続を切断します。新しいファームウェアをダウンロードすると、起動が約10秒遅れる可能性があります。アップグレードで問題が発生した場合は、ご購入いただいた販売店にご連絡ください。

シリアル番号

シリアル番号はProfoto B10/B10 Plusのバッテリーパックの下に印刷されています。また、ディスプレイ [9] で「SETTINGS (設定)」>「ADVANCED (詳細)」>「ABOUT (概要)」と進んで見つけることもできます。

技術仕様

フラッシュ	Profoto B10	Profoto B10 Plus
最大発光量	250Ws	500Ws
フラッシュパワー範囲	1.0～10 (10 f-stop)	1.0～10 (10 f-stop)
フラッシュリサイクル時間	0.05～2秒	0.05～2.5秒
フラッシュパワー安定性	±0.1 f-stop	±0.1 f-stop
閃光時間、通常モード	別表を参照	別表を参照
閃光時間、フリーズモード	別表を参照	別表を参照
定常光		
定常光タイプ	LED	
定常光最大出力ルーメン	2500ルーメン	
定常光の色温度	3000K～6500K ±500K	
定常光CRI (演色インデックス)	90～96	
バッテリー		
バッテリータイプ	リチウムイオン、14.4Vdc、43.2Wh/3.0Ah	
バッテリーフラッシュ容量 (フラッシュ回数)	Profoto B10:フルパワー発光最大400回 Profoto B10 Plus:フルパワー発光最大200回	
最大バッテリー連続光容量	最高75分間	
バッテリー充電時間	最高90分間	

同期とコントロール

Profoto Air同期およびコントロール	搭載、AirTTL受信機内蔵トランスミッターは別売り
スマートフォンコントロール	搭載、ProfotoアプリからBluetoothを使用
フォトセル/IRスレイブ	搭載

無線周波数仕様

Profoto Air 2.4 GHz

周波数帯	2.4 GHz (2404 ~ 2479.3 MHz)
無線電力出力	最大19.9 dBm (中国では最大9.9 dBm)

Bluetooth低エネルギー技術

周波数帯	2.4 GHz (2404 ~ 2479.3 MHz)
周波数チャンネル数	40
無線電力出力	最大8 dBm

その他

機能表示	多機能LCDディスプレイ
自動ダンピング	搭載
ファームウェアの更新	プロフォトのアプリからBluetoothを使用するか、Windows PCまたはMACからUSB-Cを使用
オートスタンバイ	搭載、選択可能
電源オートオフ	搭載、選択可能

サイズ	Profoto B10	Profoto B10 Plus
直径	10 cm (3.9")	10 cm (3.9")
長さ	17.5 cm (6.9")	23.5 cm (9.3")
重量 (スタンドアダプターを除く)	1.3 kg (2.8 lbs)	1.7 kg (3.7 lbs)

すべての技術データは公称値で、Profotoはさらなる予告なしにこれを変更する権利を保持しています。

Profoto B10		通常モード		フリーズモード	
		閃光時間		閃光時間	
エネルギー (スケール)	エネルギー (Ws)	t0.1(s)	t0.5(s)	t0.1(s)	t0.5(s)
10.0	250	1/400	1/1300	1/400	1/1300
9.0	125	1/650	1/1400	1/1500	1/1800
8.0	62.5	1/1000	1/1500	1/2800	1/4100
7.0	32	1/1400	1/1600	1/4300	1/8000
6.0	15	1/1800	1/2100	1/5800	1/13000
5.0	8	1/2100	1/2700	1/7700	1/17000
4.0	4	1/2600	1/3300	1/9900	1/19000
3.0	2	1/2800	1/3700	1/12000	1/25000
2.0	1	1/3300	1/4600	1/15000	1/50000
1.0	0.5	1/4900	1/7000	1/14000	1/42000

Profoto B10 Plus		通常モード		フリーズモード	
		閃光時間		閃光時間	
エネルギー (スケール)	エネルギー (Ws)	t0.1(s)	t0.5(s)	t0.1(s)	t0.5(s)
10.0	500	1/390	1/1200	1/390	1/1200
9.0	250	1/500	1/1300	1/1200	1/1700
8.0	125	1/800	1/1400	1/2200	1/4000
7.0	62.5	1/1300	1/1500	1/3500	1/6000
6.0	32	1/1600	1/1600	1/5000	1/8000
5.0	15	1/1900	1/2400	1/6400	1/11000
4.0	8	1/2300	1/3000	1/7900	1/14000
3.0	2	1/2700	1/3600	1/9400	1/20000
2.0	1	1/3400	1/4800	1/12000	1/25000
1.0	0.5	1/4100	1/6000	1/14000	1/35000

保証

Profotoの商標、名前、またはロゴが付いており、Profotoが製造するか、Profotoのために製造されたすべてのジェネレーター、ヘッドおよびリモコンは、出荷前に個別にテストされ、保証条件に記載されている例外を除いて2年間保証されます。製品に関する技術的な問題があれば、Profoto認定サービスステーションに連絡してください。

規制情報

各国における無線周帯の使用

Profoto Airシステムは、ライセンスフリーのSRD (ショートレンジデバイス) 用2.4 GHz ISM帯で作動します。この帯は、世界のほとんどの場所で使用できます。ただし、地域的な制約が適用される場合があります。

注意

Profoto B10/B10 Plus AirTTLを使用する地域の国別規制を参照し、準拠していることを確認してください。

EU適合宣言

プロフォト株式会社 は、Profoto B10/B10 Plus AirTTL の無線機器が2014/53/EU指令に準拠していることを宣言します。

EU適合宣言の全文は以下のWebサイトから入手できます。

<https://profoto.com/se/support/declaration-of-conformity>

RFパワー

各国の規制と制限を引き続き順守するため、Profoto B10/B10 Plusを操作する際は以下の「RF POWER (RFパワー)」設定を使用してください。これは変更される可能性がある点に留意してください。更新された情報はProfoto.comでダウンロードできます。

国	RFパワー
米国/カナダ	2
EU (および EES)	2
韓国	4
中国、台湾	2
日本	1

「RF POWER (RFパワー)」設定に入るには、「SETTINGS (設定)」>「ADVANCED (詳細)」>「ABOUT (概要)」と進み、10と11のボタンを長押ししてください。

米国およびカナダ

F.C.C.とカナダ産業省

コンプライアンス声明 (パート15.19) 本装置は、FCC規則のパート15およびカナダ産業省のRSS-210に準拠しています。操作は次の2つの条件に従います:

- 1) 本装置は有害な干渉を起こすことはありません。
- 2) 本装置は、予期せぬ混信の影響により、操作ができなくなることがあります。

36

警告 (パート15.21)

コンプライアンスに責任を負う当事者が明らかに承認されていない変更や修正を行った場合は、装置を操作するユーザーの権限が無効になることがあります。

Ce dispositif est conforme aux normes RSS-210 d'Industrie Canada. L'utilisation de ce dispositif est autorisée seulement aux conditions suivantes :

- 1) il ne doit pas produire de brouillage et
- 2) l'utilisateur du dispositif doit être prêt à accepter tout brouillage radioélectrique reçu, même si ce brouillage est susceptible de compromettre le fonctionnement du dispositif.

証明/登録番号の前の「IC」という文字は、カナダ産業省の技術仕様に適合していることを表すものです。

Les lettres 'IC' n'ont aucune autre signification ni aucun autre but que d'identifier ce qui suit comme le numéro de certification/ d'enregistrement d'Industrie Canada.

プロフォト株式会社

トランスミッター / レシーバー

モデル: Profoto B10/B10 Plus AirTTL

製品番号: PCA1444-000

FCC ID: W4G-RMI6、QOQBGM12LMA

IC: 8167A-RMI6、5123A-BGM12LMA

スウェーデン製

韓国

해당 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없음.

台湾

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。

前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

日本

このモジュールは、日本での販売および使用許可を得ています。

特定無線設備の種類

指定無線装置の分類：

第2条1節19項

2.4GHz広帯域低電力データ通信

上記のとおり、電波法第38条の24第1項の規定に基づく認証を行ったものであることを証する。

これは、無線法の第38～24条第1文の条項に従って上述の認証がタイプごとに付与されていることを証明するものです。



202-LSF011

R 209-J00226

クレジット

Apple iPhoneは、米国および他の国で登録されているApple Inc.の商標です。

Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有する登録商標です。Profotoによる当該マークの使用はすべて、ライセンスに基づいて行われています。その他の商標と商品名は各所有者の所有物です。

テクニカルデータおよび製品情報は予告なしに変更されることがあります。

104265.2019年6月 スウェーデンにて印刷。

プロフォト株式会社
東京都中央区湊1-1-12
HSB鉄砲洲ビル3F

03-3206-1861
info@profoto.jp
www.profoto.com

 **Profoto**